

第五十九回一宮支部展

会期 平成二十五年十一月二十三日（土）～二十四日（日）

会場 一宮スポーツ文化センター

出品者 支部員 二二七名

青年部 一一三名

一宮市芸術祭参加事業の一環であり、一宮支部員の大家族展です。

理事長の鬼頭翔雲先生はじめ、副理事長の松永清石先生・関根玉振先生・伊藤昌石先生に賛助出品を賜り、さらに、時代を担うフュー

チャーズ（青年部）が、三団体一〇〇名、個人十三名が出品参加し、

一層盛り上がることができました。

第57回 一宮支部展

支部次長 村 田 光 稔

▼会期 平成二十三年十一月二十六日(土)～二十七日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター 二階

本年度の一宮支部展も、

御相談役の先生並びに、支部各先生方の多大なるご尽力と御協力により、盛況裡に開催することが出来、衷心より感謝申し上げます。

本部からも、理事長の鬼頭翔雲先生、副理事長の後藤汀篤先生、同松永清石先生、同関根玉振先生の、半切大作品を賛助出品賜りまして、更なる重厚な趣も加えて頂き、厚く御礼申し上げます。

げます。

支部各先生からは、二二九名、青年部であるフューチャーズからは、個人六名、四団体出品者総数一〇七名という多数の御参加を頂き、一宮市の芸術祭参加事業の一環としても、相応しい行事となりました。

支部展は、例年通り、学生書道展との併設行事です。昨年度から始められた両展の繋がりを生かした建設的

な企画。生徒が、支部展展示作品の中から、自分の先生の作品を見付け出し、その作品の最初の文字を書くというクイズ形式の企画は好評で、本年度も継続して行われました。

幼い子供達が、書いたことも無い漢字一文字を、一生懸命真似て書き、小さな手で背伸びをしながら、用紙をクイズ箱に入れる姿は、担当番にとっても愛くるしさで、微笑みがこぼれるひと時でもありました。

未来を託す子供達が、健全なる成長過程と共に、書に対する深まりが増すことを願うばかりです。

来年度も、支部各先生方

の多数の御出品と御協力を
お願い申し上げますと共に、
初担当に付き、至らぬ点が多々ありましたことを、紙面をお借りして、深くお詫
び申し上げます。



第56回「和」の一宮支部展開催

支部次長 岩 田 潤 流

▼会期 平成二十二年十一月二十日(土)～二十一日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター 二階

今年度五十六回支部展には、本部より賛助出品として理事長・安藤滴水先生、副理事長・鬼頭翔雲先生、同後藤汀鶯先生、同松永清石先生にご出品賜りました。

支部員は二二六名、フューチャーズ展(青年部)では個人・団体出品合わせ一二八名の若人にご参加頂き、会場は華やかさで満ち溢れました。幅広い年齢層の方々

が「支部展」という一つの場に集い、「和」を成すことに深い意味があると思います。二日間という短い会期中で得るところは多く、貴重な学びの場となりました。

また、フューチャーズ展に於いては参加者も増え、未知に挑戦しようとする、前向きで純真な姿勢と力強さを感じました。

ところで今回展では、来場の児童生徒に回答用紙を配布し、自分の先生の作品を探し、最初の文字を書くというクイズ形式のイベントを催しました。これは、

先生の作品を探すことで多くの書に親しめることや、師の作品に接し、普段とは別の交流ができるなど、保護者の皆様も含め、より書道への関心を高めて頂きたいとの願いを込め企画致しました。会期中、会場では熱心に作品に見入る親子の姿や、ふれあいの言葉を聞くことができました。

今回展が無事終了できましたのも、執行部の先生方

はじめ支部員皆様のご協力あつてこそと、係として感謝申し上げます。

では、次回五十七回展に向け、私も本日から精進したいと思います。

